

○計画期間：平成 27 年 4 月～令和 2 年 3 月（5 年）

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 平成 30 年度終了時点（平成 31 年 3 月 31 日時点）の中心市街地の概況

守山市では、平成 21 年 3 月～平成 27 年 3 月までの 6 年間を計画期間とする「守山市中心市街地活性化基本計画」（前計画）で生み出された成果を活用し、またまちづくりへの機運の高まりを継続させ、更なる発展・活性化を図るため平成 27 年 3 月 27 日に新たな基本計画（本計画）の認定を受けた。

『住み続けたいくなる“絆と活力ある共生都市”の創造』を基本理念とし、「新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち」「こどもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち」「地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち」を目標に、民間事業者、各関係団体等との連携を図りながら中心市街地の活性化に取り組んでいる。

前計画で整備した「守山市歴史文化まちづくり館（守山宿・町家“うの家”）」、「守山市中心市街地活性化交流プラザ（あまが池プラザ）」、「チカ守山」等のにぎわい創出拠点では、年数経過とともに認知度が上がってきており、利用者数は順調に増加傾向で推移している。

ソフト事業においては、この 3 拠点を中心に「ルシオール アート キッズフェスティバル」・「もりやま夏まつり」・「守山ほたるパーク&ウォーク」等の主要市内イベントが、株式会社みらいもりやま 21 や市の実行委員会等によって取り組まれ、住民や来街者にとって歩いて楽しく回遊できる環境が整いつつある。

ハード事業では、「市立図書館整備事業」においては平成 30 年 11 月に守山市立図書館がリニューアルオープンし、隈研吾氏による設計が脚光を浴び、平成 31 年 3 月までの 4 ヶ月間で 222,231 人、それ以前の仮設図書館の来館者数と合計すると平成 30 年度は 293,507 人（前年度：仮設図書館 181,472 人）の来館者を計上した。

また、「守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業」においては西棟が平成 31 年 3 月に工事竣工し、4 月には健康をコンセプトとする「レストラン&カフェ」がオープンした。さらに同施設には健康・予防医学をコンセプトにした多世代交流・活動拠点等の整備が予定されており、健康寿命の延伸や QOL 向上を目的とした運動・プログラムを提供する。東棟を含めた守山銀座ビル全体のオープンは令和 2 年春を予定しており、「健康商店街」として各店舗が連携したうえで、中心市街地のにぎわい創出拠点としての役割を担う。

都市機能の増進については、株式会社みらいもりやま 21 を中心に継続して取り組まれている。前計画で実施された「平成 26 年度中心市街地商業活性化診断・サポート事業」に基づき、

本計画でも継続して「セルバ守山1・2階活性化事業」を実施している。平成28年度から同施設への飲食店誘致に取り組んでおり、平成30年度には飲食店が新たに1店舗オープンしている（株式会社みらいもりやま21によるサブリース方式）。

今般、本計画が最終年度を迎えるにあたり、重要事業に位置付けたハード事業が次々と具体化しつつある。引き続き、現在進行中である取り組みが着実に完了・目標達成できるように事業を推進し、更に動き始めている民間事業者、関係者間等との連携を一層図り、より効果的・効率的に進捗するよう本計画を推進していく。

**【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】**

（基準日：毎年度1月1日）

（中心市街地 区域）	平成26年度 （計画前年度）	平成27年度 （1年目）	平成28年度 （2年目）	平成29年度 （3年目）	平成30年度 （4年目）	平成31年度 （5年目）
人口	17,654	17,999	18,244	18,350	18,487	-
人口増減数	265	345	245	106	137	-
自然増減数	99	129	116	70	79	-
社会増減数	166	216	129	36	58	-
転入者数	1601	1,658	1,330	1,255	1,016	-

（単位：人）

**2. 平成30年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

平成30年度は、8月・3月の計2回、中心市街地活性化協議会を開催し、各事業の進捗状況等の報告や意見交換等を行った。本計画の策定を進めていた平成26年度から、民間事業者や健康・予防医学をテーマに活動する市民団体等、新たに協議委員を増やし、民間事業者の意見や取り組みがより反映するようになった。

とりわけ、「近江鉄道ビル」や「勝部自治会火まつり交流館」等の民間ハード事業の具体化に伴い、中心市街地活性化に向けたソフト活用の詳細について説明がなされ、これについて闊達な意見交換がなされた。

また、平成29年度中心市街地活性化協議会（2月）において承認がなされた専門人材補助事業について経済産業省からの交付決定が得られ、「守山市中心市街地活性化基本計画検証および中核施設連携事業」を執り行うに至り、本計画の検証に寄与している。

更に、創業支援事業として商工会議所と有識者による連携事業と成果について説明がなされ、創業の機運醸成に大きな効果が認められたため、今後「起業家の集まるまち」を目指すため協議会として支援する決議がなされた。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち	新規出店店舗数	7店舗/年 (H25)	35店舗 (H27~H31)	61店舗（累計） (H27~H30)	A	①	①
こどもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち	中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数	466,854人/年 (H25)	507,000人/年 (H31)	570,583人/年 (H30)	A	③	①
地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量（平日）	15,742人/年 (H25)	16,200人/年 (H31)	14,726人/年 (H30)	C	①	③

#### <基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じている等、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### (1) 「新規出店店舗数」について

目標値 35 店舗に対して、前年度（平成 29 年度）に新規出店店舗数が累計 50 店舗に達したため、目標達成に至る。そのため、見通しを<①>と評価。

なお、平成 30 年度中に新たに 11 店舗出店しており、累計 61 店舗を計上している。

#### (2) 「中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数」について

目標値 507,000 人/年に対し平成 30 年度は 570,583 人/年と大幅に上回り、次年度は更に増加が予想されることから見通しを<①>と評価。

対象施設のひとつである守山市立図書館が「市立図書館整備事業」に伴い運営縮小（仮設図書館）したため、利用者数が一時的に減少したが、平成 30 年 11 月のリニューアルオープン以降大幅に利用者が増加。年度途中のオープンであったが、昨年度比で約 100 千人の増加している点を勘案すると、次年度は更に増加するものと予想される。

(3) 「歩行者・自転車通行量（平日）」について

今年度は昨年度比で若干の増加を計上しているものの、依然として目標値・基準値より大幅に下回る数値で推移している。目標達成に寄与する主要事業において一部、民間事業者の事情もあり実施に至っていない事業があるが、全体としては順調に進捗している為、目標達成は可能と見込み<③>と評価。

具体的には、株式会社平和堂による「平和堂守山店建て替え事業」が同社の事情により実施に至っていない。しかしながら、平成 29 年度の「守山駅前顔づくり事業（近江鉄道ビル建て替え事業）」、「火まつり等伝統行事継承事業（火まつり交流館整備事業）」による施設整備によって、一部地点では数値が伸びていること、また「市立図書館整備事業」が実現し従前の図書館に比べ大幅に利用者数を増加させていること、さらに今後「守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業」等の新たな施設整備及び良好な歩行環境整備の実現により、歩行者・自転車通行量は増加し目標達成可能であると見込む。これら主要な施設の利用者の回遊性を高めるような仕掛けづくりを更に継続して検討する。

### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

(1) 「新規出店店舗数」について

前回から変更はない

(2) 「中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数」について

「市立図書館整備事業」に伴う図書館の運営縮小（仮設図書館）により、目標達成への進捗が遅れたものの、平成 30 年 11 月のリニューアルにより大幅に利用者が増加したため、見通し評価を③から①へと変更したものの。

(3) 「歩行者・自転車通行量（平日）」について

平成 29 年度フォローアップ報告では、目標達成に寄与する主要事業が全体として順調に進んでおり、同年度の歩行者・自転車通行量の数値は基準年度を下回っていたものの、事業進捗に伴い域内のにぎわい創出と回遊性の向上が見込まれたために<①>と評価。

しかしながら、本計画が次年度で最終年度を迎えるにあたり、「平和堂守山店建て替え事業」が実施に至っていない状況を踏まえると、進捗状況が予定通りと評価し難い。

その一方で、他の主要事業は順調に進捗しており、「市立図書館整備事業」や、「守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業」により、既存のにぎわい創出拠点と連携することで域内の回遊性は向上するものと見込まれる。

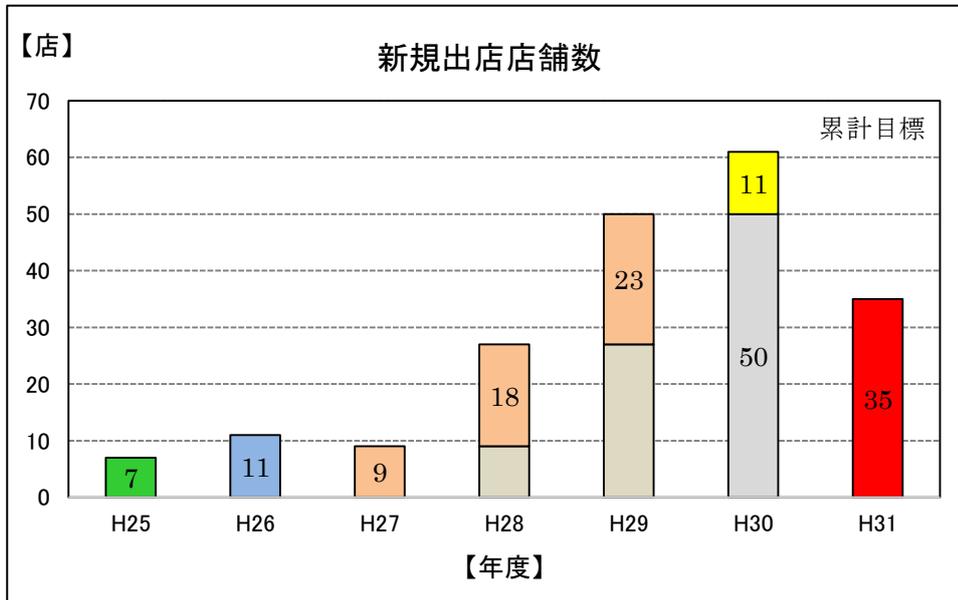
この為、前述のように取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成と見込まれ、引き続き最大限努力していくものであることから<③>と評価。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「新規出店店舗数」

※目標設定の考え方 認定基本計画 P. 72～P. 73 参照

##### ●調査結果の推移



年	店舗数 (累計)
H25	7 (-) (基準年値)
H26	11 (-)
H27	9 (9)
H28	18 (27)
H29	23 (50)
H30	11 (61)
H31	35 (目標値)

※調査方法：現地踏査

※調査月：年間を通じて都度調査

※調査主体：守山市

※調査対象：中心市街地内の新規出店店舗

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ① 守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業（守山銀座ビル市街地再開発組合）

事業実施期間	平成 31 年度（実施中）
事業概要	建築から 50 年が経過し、老朽化が進んでいる銀座商店街東西ビルの建て替えを行い、商業施設の魅力や利便性また道路機能を向上させることにより、集客力の向上や賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金【地域商業自立促進事業】（経済産業省）（平成 30 年度）
事業効果及び進捗状況	守山市のメインロード（語らい学び舎通り）を挟んで 2 棟のビルが整備されることにより、同ビル内に 5 店舗の新規出店を見込む。  平成 27 年 1 月 21 日 ・再開発準備組合設立 平成 27 年 5 月 ・基本計画策定 平成 28 年 2 月 ・事業計画等作成業務の実施 平成 28 年 3 月 25 日 ・都市計画決定 ・大津湖南都市計画守山銀座ビル地区計画

	<p>平成 28 年度</p> <p>平成 29 年 11 月</p> <p>平成 30 年</p> <p>平成 31 年 3 月</p> <p>令和 2 年 2 月</p> <p>当初（平成 25 年度）見込み：5 店舗新規出店 平成 30 年度時点：2 店舗新規出店</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大津湖南都市計画守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業</li> <li>・ 実施設計、事業計画、権利変換計画作成、地盤調査</li> <li>・ 解体工事</li> <li>・ 起工式、建設工事</li> <li>・ 西棟完成</li> <li>・ 東棟完成（予定）</li> </ul>
事業の今後について	西棟については既存 3 店舗に加えて新たに 2 店舗が平成 31 年度（令和元年度）に出店。東棟も店舗誘致中であり、既存 2 店舗に加え 3 店舗以上の出店を目指す。	

②. 守山駅前の顔づくり事業（近江鉄道ビル建て替え事業）（近江鉄道株式会社）

事業実施期間	平成 29 年度（完了）
事業概要	守山駅前広場に隣接する近江鉄道ビルにおいて、魅力ある商業施設を整備し、集客力の向上やにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>当初、既存 1 店舗に加え 8 店舗の出店を見込んでおり、平成 29 年度建て替え後に見込み通り 8 店舗が出店。</p> <p>平成 27 年春～ 実施設計、開発協議、テナント交渉 平成 27 年秋～ 建設業者選定、開発事前協議完了 平成 28 年 1 月 21 日 起工式、建設工事開始 平成 28 年度 引き続き建設工事の進行 平成 29 年 8 月 1 日 開業</p> <p>当初（平成 25 年度）見込み：既存 1 店舗に加え 8 店舗新規出店 平成 29 年度時点：既存 1 店舗に加え 8 店舗新規出店</p>
事業の今後について	平成 31 年度（令和元年度）からは、「ほたるパーク&ウォーク」のインフォメーションブースを設置。今後とも、守山駅前の他店舗と連携図りながらにぎわい創出を図る。

③. セルバ守山 1・2 階活性化事業（セルバ守山管理組合）

事業実施期間	平成 26 年度～（実施中）
事業概要	守山駅から直接アクセスできる立地を活かし、リニューアルした地下商業施設の効果を活かしながら、訪れたいくなる環境を創出する。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業効果及び進捗状況	セルバ守山1・2階では、区分所有により有効に空き店舗が活用されていない中、まちづくり会社が区分の配置替えとテナントリーシングに関わり、今年度1階に飲食店が1店舗新規オープンした。  当初（平成25年度）見込み：12店舗新規出店 平成30年度時点：10店舗新規出店（累計）
事業の今後について	平成26年度以降順調にテナント出店が進み、平成30年度において累計10店舗の出店を果たしている。現在、2区画分の空区画があり、引き続き店舗誘致が図られる。

④. 空店舗対策事業（株式会社みらいもりやま21）

事業実施期間	平成21年度～（実施中）
事業概要	中心市街地における空店舗の解消に向け、市民ニーズを踏まえ、魅力ある店舗を誘致しにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	まちづくり会社によるリーシングにより、飲食店2店舗が新規オープンした。今後もまちづくり会社のネットワークを活かしながら、毎年2店舗を目標に、空店舗への店舗誘致を進めていく。 累計9店舗が新規出店（目標値10店舗）  当初（平成25年度）見込み：9店舗新規出店 平成30年度時点：10店舗新規出店（累計）
事業の今後について	株式会社みらいもりやま21のまちづくり会社としての実績から認知度・信用度は高まりつつあり、今後もさらに空店舗や低未利用地の活用について積極的に取り組み、中心市街地のにぎわい創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成29年度において新規出店店舗数は、目標35店舗を大きく上回る累計50店舗を計上し、この時点で目標を達成した。

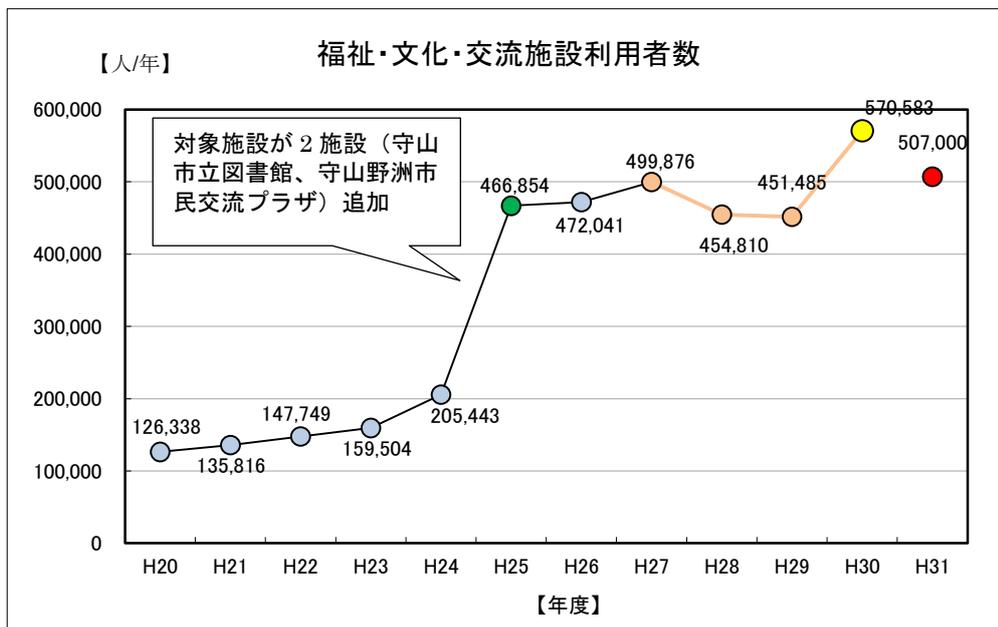
本年度の新規出店店舗11店舗のうち2店舗は③セルバ守山1・2階活性化事業および④空店舗対策事業によるもの。

今後、守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業により更なるテナント進出が見込まれるほか、株式会社みらいもりやま21が中心となり、セルバ守山1・2階の活性化事業やまちなかの空店舗対策事業を進めることで、前計画終了時点での課題として挙げた「商業面での活性化」の実現を図る。

「中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数」

※目標設定の考え方基本計画 P74～P76 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H25	466,854 (基準年値)
H26	472,041
H27	499,876
H28	454,810
H29	451,485
H30	570,583
H31	507,000 (目標値)

●:基本計画認定前の値 ●:基準年値 ●:基本計画中の値 ●:最新値 ●:目標値

※調査方法：調査対象施設の利用者調査

※調査月：施設開館日は毎日実施、年度末取りまとめ

※調査主体：各調査対象施設管理者

※調査対象：守山公民館、駅前総合案内所、駅前コミュニティホール、市民交流センター、あまが池プラザ、守山宿・町家“うの家”、中山道街道文化交流館、守山市立図書館、守山野洲市民交流プラザ

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 守山市立図書館整備事業（守山市）

事業実施期間	平成 30 年度（実施中）
事業概要	文化・芸術の拠点として多世代の利用が活発になると共に、文化芸術交流の質的向上が図れるよう、図書館の再整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金【都市再生整備計画事業】 (国土交通省) (平成 25 年度～平成 29 年度) 地方創生拠点整備交付金 (内閣府) (平成 28 年度～平成 30 年度)
事業効果及び進捗状況	平成 27 年度 基本設計、設計管理業者選定 平成 28 年 5 月～ 実施設計 平成 28 年 10 月～ 解体工事開始 平成 30 年 11 月 新図書館開館  当初（平成 25 年度）見込み：262,200 人/年

	平成 30 年度時点：293,507 人/年
事業の今後について	平成 30 年 11 月にリニューアルオープンして以降、想定を上回る利用者数が続いている。年度途中でのオープンであったが、それでも目標を上回っていることを勘案すると、平成 31 年度（令和元年度）は更に上回る事が予想される。

②. 守山野洲市民交流プラザ福祉文化事業（一財 守山野洲市民交流プラザ）

事業実施期間	平成 27 年度～（実施中）
事業概要	守山野洲市民交流プラザの福祉文化事業の充実を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	守山駅の東側に位置する、守山野洲市民交流プラザにおいて、市民教養講座やコンサート等の福祉・文化に関連する講座等の充実させることにより、利用者増加を目指す。 基準年の平成 25 年度に比べ、本年度の当該事業の利用者数は 128 人増の 1,904 人であった。これは定期的開催されるコンサート等が市民にも広く定着してきた成果と思われる。今後も内容の充実や周知を広める等工夫を凝らし、利用者の増加を目指す。  当初（平成 25 年度）見込み：150 人/日の増加 平成 30 年度時点：128 人/日の増加
事業の今後について	平成 27 年度から平成 30 年度までの利用者数は平均 1,980 人/年であり、基準年度から 204 人/年上回っている。この傾向が続く場合、目標 150 人/年の利用者増加は達成可能と見込む。

③. 中心市街地活性化に向けた様々な取り組みによる利用者の増加（市・商工会議所他）

事業実施期間	平成 27 年度～（実施中）
事業概要	中心市街地活性化の充実により主要施設の利用者の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	前計画で整備した守山宿・町家“うの家”やあまが池プラザといった中心市街地の各施設では、それぞれの特性を活かし幅広い世代や用途に貸室が利用され、多くの市民活動を促進してきた。また、地場産野菜販売やまちかどコンサート、オーガニックビアガーデンパーティ、マルシェ等のイベントを継続的に実施してきた結果、認知度が向上し利用者の増加につながった。 平成 30 年度実績では 20,800 人/年増加。  当初（平成 25 年度）見込み：15,440 人/年の増加

	平成 30 年度時点：20,800 人/年の増加
事業の今後について	中心市街地の各施設利用者数も全体的に増加傾向にあり、今後も増加推移していくものと考えられる。個々の特性を最大限生かしたイベント等が地域に定着し、認知度が上がったためと考えられる。今後もこの傾向を維持し、にぎわいの創出を図る。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

9つの対象施設の全てにおいて基準年度を上回る利用者数を計上し、目標 507,000 人/年に対して本年度は 570,583 人/年であった。

とりわけ、「市立図書館整備事業」により平成 30 年 11 月に守山市立図書館がリニューアルオープンしたことで、平成 31 年 3 月までの 4 ヶ月間で 222,231 人、それ以前の仮設図書館の来館者数と合わせると平成 30 年度は 293,507 人（前年度：仮設図書館 181,472 人）の来館者を計上し、合計値を押し上げる主因となっている。

また、「守山宿・町家“うの家”」においても大幅に増加しており、40,175 人/年（前年度 31,185 人/年）の来館者があった。指定管理者の株式会社みらいもりやま 21 が主催する、地域と連携した歴史文化イベントが定着してきたことによる影響と考えられる。

駅前総合案内所では、65,490 人/年（前年度 73,793 人/年）と減少しているが、空調故障による休業が影響したものであり、利用者の減少は一過性のものと考えられる。それまでは、市政情報の提供機能に加え定期的な朝市や作品展等、市民活動を積極的に実施してきたことにより、利用者数が増加傾向であったため、次年度では本年度より増加するものと見込む。

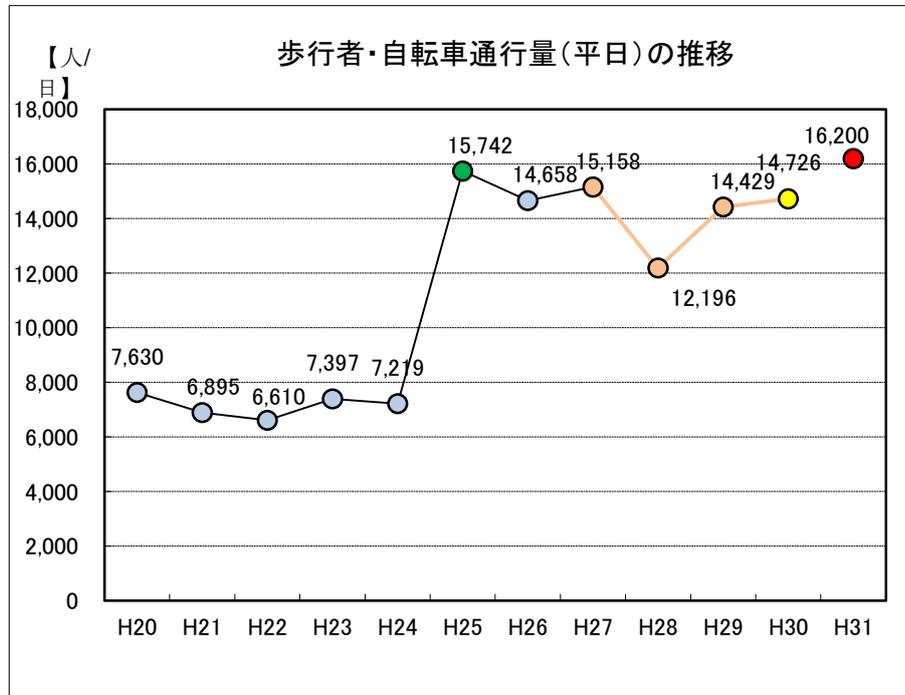
その他の施設においては、微増又は横ばいに推移している。

全体として平成 30 年度の中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数合計は目標数値を上回っており、主因である守山市立図書館のリニューアルオープンが年度途中であったことを勘案すると、次年度は更なる増加が見込まれるため、最終年度において目標は達成するものと考えられる。

「歩行者・自転車通行量（平日）」

※目標設定の考え方基本計画 P77～P80 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H25	15,742 (基準年値)
H26	14,658
H27	15,158
H28	12,196
H29	14,429
H30	14,726
H31	16,200 (目標値)

●:基本計画認定前の値 ●:基準年値 ●:基本計画中の値 ●:最新値 ●:目標値

※調査方法：歩行者・自転車通行量（平日）調査

※調査月：毎年度10月下旬～11月上旬の平日

※調査主体：守山市

※調査対象：歩行者及び自転車通行者、平日5地点：北野電機前（銀座通り）、うの家前（中山道）  
 沢井電器店前（ほたる通り商店街）、郵便局前（すこやか通り）、カツミデンキ前（銀座通り）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業（守山銀座ビル市街地再開発組合）【再掲】

事業実施期間	平成31年度（実施中）
事業概要	建築から50年が経過し、老朽化が進んでいる銀座商店街東西ビルの建て替えを行い、商業施設の魅力や利便性また道路機能を向上させることにより、集客力の向上や賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金【地域商業自立促進事業】（経済産業省）（平成30年度）
事業効果及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年1月21日 ・再開発準備組合設立</li> <li>平成27年5月 ・基本計画策定</li> <li>平成28年2月 ・事業計画等作成業務の実施</li> <li>平成28年3月25日 ・都市計画決定</li> <li>・大津湖南都市計画守山銀座ビル地区計画</li> <li>・大津湖南都市計画守山銀座ビル地区第一</li> </ul>

	<p style="text-align: center;">種市街地再開発事業</p> <p>平成 28 年度                      ・ 実施設計、事業計画、権利変換計画作成、 地盤調査</p> <p>平成 29 年 11 月                  ・ 解体工事</p> <p>平成 30 年                          ・ 起工式、建設工事</p> <p>平成 31 年 3 月                    ・ 西棟完成</p> <p>令和 2 年 2 月                    ・ 東棟完成（予定）</p> <p>当初（平成 25 年度）見込み：123 人/日の増加 平成 30 年度時点：3,396 人/日（基準年度比△316 人/日） 計測位置：守山銀座西交差点</p>
事業の今後について	回遊性を向上させる歩行者環境が整備されるとともに、西棟に集客の核となる飲食店、および「健康」をコンセプトとした多世代交流拠点が開業することでにぎわい創出を図る。

②. 守山駅前の顔づくり事業（近江鉄道ビル建て替え事業）（近江鉄道株）【再掲】

事業実施期間	平成 29 年度（完了）
事業概要	守山駅前広場に隣接する近江鉄道ビルにおいて、魅力ある商業施設を整備し、集客力の向上やにぎわいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>平成 27 年春～                      ・ 実施設計、開発協議、テナント交渉</p> <p>平成 27 年秋～                      ・ 建設業者選定、開発事前協議完了</p> <p>平成 28 年 1 月 21 日                ・ 起工式、建設工事開始</p> <p>平成 28 年度                        ・ 引き続き建設工事の進行</p> <p>平成 29 年 8 月 1 日                ・ 開業</p> <p>当初（平成 25 年度）見込み：141 人/日の増加 平成 30 年度時点：4,969 人/日（基準年度比△466 人/日） 計測位置：守山駅前交差点</p>
事業の今後について	令和元年度からは守山ほたるパーク&ウォークのインフォメーションブースを設ける等、今後も駅前の憩いの空間・にぎわい創出にも積極的に活動を拡大する。

③. 平和堂守山店建て替え事業（株平和堂）

事業実施期間	平成 24 年度～（未）
事業概要	中心市街地の中央部に位置する平和堂守山店の建て替えにより、居住者や来街者の買い物利便性を高め、回遊性と集客力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金【中心市街地再興戦略事業】（経済産業省）（予定）

事業効果及び進捗状況	事業者において、建替えについて検討されているが、事業者の事情もあり実施に至っていない。  当初（平成 25 年度）見込み：14 人/日の増加 平成 30 年度時点：事業未実施
事業の今後について	今後、実施される際には、エリア居住者や来街者の買物利便性を高めるとともに、回遊性や集客力向上によりまちなかの活性化に寄与されるよう、引き続き働きかけを行う。

④. 滋賀県立成人病センター第二期改築工事、聴覚・コミュニケーション医療センター構想推進事業（滋賀県）

事業実施期間	平成 23 年度～（実施中）
事業概要	既存の滋賀県立総合病院の改築および聴覚・コミュニケーション医療センター構想の推進に合わせ、当該施設の周辺に位置する施設と連携を図りながら「健康・予防医学の取り組み」を進める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置無し
事業効果及び進捗状況	滋賀県立総合病院では、高度専門医療の提供と全県型医療の展開に向けた機能強化を図るために、新病棟の建設が平成 26 年度より進められ、平成 28 年 11 月に増設完了。高度な医療施設が整う環境を活かし、行政や教育文化施設、民間事業者等が連携を図り、「健康・予防医学」をテーマとしたソフト事業に取り組んでいる。平成 26 年度からは、あまが池親水緑地においてオーガニックビアガーデンパーティが定期的に行われるようになり、健康・予防医学に関する情報発信や出店により市民の健康への関心を高めた。  当初（平成 25 年度）見込み：200 人/日の増加 平成 30 年度時点：2,907 人/日（基準年度比△447 人/日） 計測位置：守山郵便局前交差点  ※ 平成 30 年 1 月 1 日より「成人病センター」から「滋賀県立総合病院」に名称が変更
事業の今後について	今後も医療をテーマとしたソフト事業により、散策を楽しみたくなる環境づくりを進めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数が増加傾向である一方で、歩行者・自転車通行量は前年度より微増したものの、基準年度 15,742 人/日に対して 14,726 人/日と基準値を下回っている。これは守山銀座商店街においては再開発事業に伴い店舗が閉鎖または移転していることが影響しており、一時的に基準値を下回っているものと考えられる。しかし

ながら、全体として各事業の取組は順調に進んでいることから、今後目標達成は可能であるものとする。

とりわけ、本計画から追加した医療集積ゾーン（すこやか通り郵便局前）については、基準年値と比較して2,907人と大きく下回っており、周辺の目田川の河川環境の向上、県立総合病院の機能強化、市立図書館の完成（平成30年11月開館）等との連携を高める等の対策を講じる。

また、「守山駅前顔づくり事業（近江鉄道ビル建て替え事業）」により、新たな商業施設がオープンした駅前地点でも4,969人/日、さらに「守山銀座ビル地区第一種市街地再開発事業」において開発が進められている守山銀座地点でも3,369人/日と、いずれも基準年度を下回っている。守山銀座商店街における再開発が完成した後、駅前までをつなぐ動線において新たな連携を高める等の対策を講じる。